

肝外胆管癌手術症例の胆管断端について：術中迅速病理および永久病理評価と予後との関係に関する検討

1. 研究の対象

2008年1月～2016年12月に当院で肝外胆管癌の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

胆管癌は胆管の壁に沿って進展することが多く、肝外胆管癌手術の際には術中迅速病理検査を行い、肝側胆管断端に癌細胞があるかどうか、また癌細胞がある場合には癌細胞が上皮内にとどまるか、上皮内を越えて深く浸潤しているかを確認し、その結果によって胆管の追加切除を行うかどうかを決定します。この胆管断端の病理結果を迅速病理と永久病理とで比較、またこの病理結果と予後との関連について検討し、術中の胆管追加切除の方針を立案することを目的とし、病理報告書を元に予後との関連について検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報として、病理結果報告書、再発の有無、生存の有無を調べます。

この研究は、本校の倫理審査委員会で倫理性・科学性が検討され、承認されています。お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、あなた個人を特定できるような情報はふせられたままデータを集計しますので、あなたのプライバシーは厳重に守られます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校病院 肝胆膵外科 青笹季文

TEL: 04-2995-1637

FAX: 04-2996-5205

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

研究責任者：防衛医科大学校病院 肝胆膵外科 山本順司